

都祁散策(いにしへの道)コース

スタート

①都祁公民館駐車場

日時：平成27年10月24日(土)
9時30分～15時
公益財団法人 奈良市生涯学習財団
都祁公民館



徒歩1分(公民館隣)
約50m

全行程7.5Km(ほぼ平坦な道)
「大和の高原文化をのんびり歩こう！」

②観音寺(針)

8世紀(宝亀年間)に、僧延鎮が小堂を建てたことに始まる。本尊は、十一面千手観音像で、南北朝時代の大般若経六〇〇巻や十三重石塔がある。



徒歩35分
約2.3km

⑨ゴール(公民館)

徒歩25分
約1.600m



③観音寺(甲岡)

十一面観音立像を本尊とし南之庄に残る明神縁起によれば、九七五年に庄司則清の弟の則宗が寺家を建て、観音寺と号したとある。



御神体は大きな石で大国魂命を祭り、国土を守る神、農業の神として信仰されている。

⑧三陵墓古墳群

徒歩9分
約600m



徒歩13分
約0.9km

⑦国津神社(南之庄)

徒歩15分
約1.100m

④都祁水分神社(友田)

本殿は室町中期、明応八年(一四九九年)に建造されたといわれ、国指定重要文化財となっている。また、金銅装神輿、石造狛犬などの指定文化財がある。



行基の開創とも伝えられている。永久二年(一一一四年)多田満仲の一族、頭鏡が寺境を定め相河庄の蓮阿が本堂を建立した。山内諸郷士の菩提所として栄えた

屋食
休憩

徒歩7分
約500m

⑥来迎寺(来迎寺)

徒歩7分
約500m

⑤小治田安萬侶の墓

奈良時代の高官、小治田朝臣安萬侶の火葬墓。副板二枚をともなう墓誌のほか木製骨櫃、土師器甕、和同開珎の銀銭などが出土している。

